

令和7年度 益田市と島根県立大学の共同研究事業 西嶋一泰  
ふるさと民話のAI絵本化



未来に残そう 地域の宝 高津デジタル博物館

# 自己紹介



西嶋 一泰

にしじま かずひろ

k-nishijima@u-shimane.ac.jp

1985年大分生まれ、東京育ち、民俗学研究者

2016年から大田市地域おこし協力隊

- ・教育魅力化コーディネーター
- ・大田市山村留学センターの情報発信など

記事映像制作&リサーチ 西嶋ラボ代表

- ・フリーランスとしてライターや映像制作
- ・映像配信やWebイベントの運営設計
- ・ワークショップの設計・ファシリテーション

一社) しまね協力隊ネットワーク副代表

総務省 地域おこし協力隊 アドバイザー

島根県立大学 地域政策学部 講師



島根県益田市にある高津地区の伝統行事「ホーランエー」をはじめ、地域の人びとに受け継がれ、大切にされてきたものをデジタル技術によってアーカイブしていく万葉の里高津未来の会 歴史・伝統文化の薫るまち部会と島根県立大学西嶋研究室との共同プロジェクトです。

## ウェブサイト公開中

高津デジタル博物館のサイト公開中。  
まだ作業中ですが動画・写真・資料を  
観ることができます。

下記URLかQRコードからチェック

<https://takatsu.notion.site/>



# これまでの活動

- 高津デジタル博物館開設
- ホーランエー動画アーカイブ
- 高津餅つき音頭動画アーカイブ
- 柿本神社八朔祭動画アーカイブ
- 高津十景マップ作成



## 高津十景とは？

高津十景（たかつじゅっけい）とは、島根県益田市高津地区の歴史的・文化的景観を記録し、次世代に伝えるために選び、まとめたもの。2016年に高津の歴史と文化を考える会が住民への公募を行って写真の冊子を作成。このリーフレットもその冊子を元に作成しました。あわせてWebsiteも制作していますので、左上のQRコードからぜひご覧ください。

## 高津デジタル博物館

島根県益田市高津地区の歴史的・文化的なものを収集・公開していくプロジェクト。島根県立大学 西嶋一泰研究室が益田市との共同研究として、万葉の里 高津未来の会と連携して取り組む。ホーランエーや流鍋馬などを取材公開。<https://takatsu.shimane.site>



# 小学校との連携 ふるさと教育 教材開発

- 高津小学校へヒアリング
- 高津小学校3年生向けのふるさと学習の教材開発にニーズ
- R6年度に作成した高津十景マップも活用
- 高津十景をさらに絞って深掘りしていく活動を予定
- 地域に伝わる民話のAIを活用し、デジタル絵本化を提案

# ふるさと民話のAI絵本化

- 地域には民話や伝説がたくさんある
  - 民話の記録はあるが、今の子どもたちには読みにくい
  - AIを活用し、ストーリーを整理する
  - AIを活用し、場面ごとに絵をつける
  - AIを活用し、音声をつける
- 今の子どもたちにも伝わるふるさと教育の教材が作成可能  
忘れられつつある「民話」にもう一度脚光を

# 益田の民話

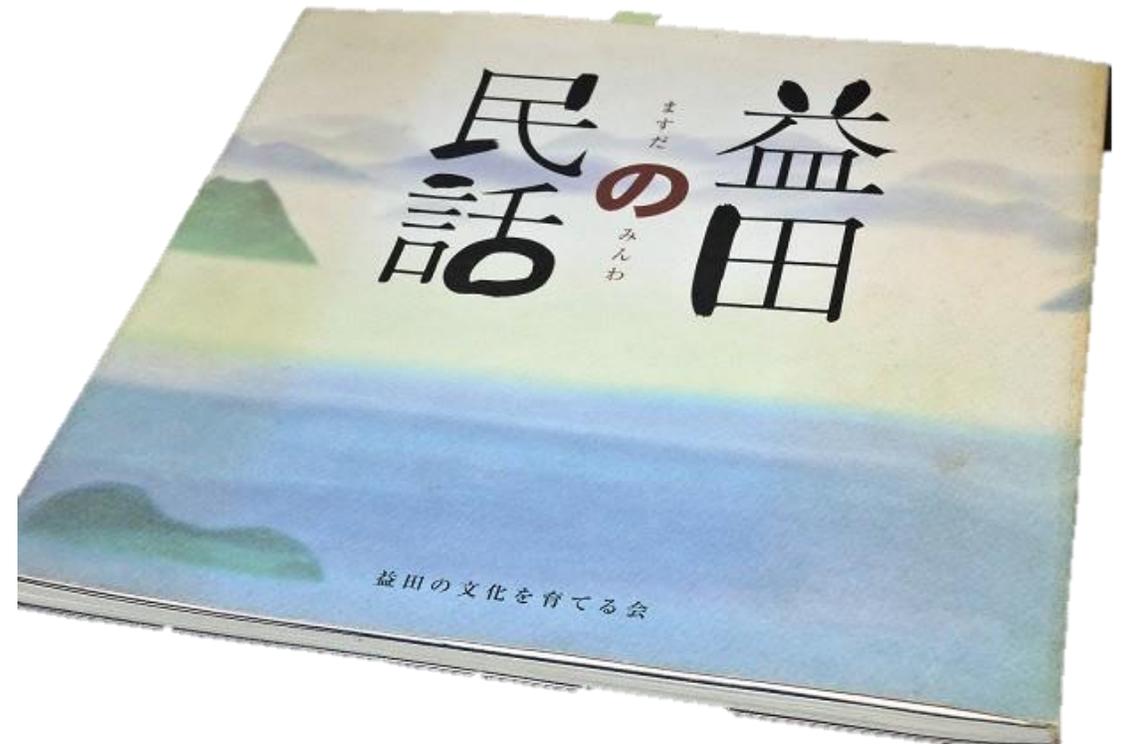
- 益田の文化を育てる会発行
- 2002年3月25日に発行
- もとは島根大学昔話研究会が採話
- 高津に関連する4編を選ぶ

夕日を招く長者

蟠竜湖に浮かんだ大蛇と箸、

人麿が鎌で刻んだ岩

汽車に化けた狐



# AIを活用した絵本化

- ①元の民話のストーリーをテキストデータにする
- ②民話のテキストをAIに読み込ませ、絵本として再構成させる  
使用したAI：今回はGoogleのGeminiを利用
- ③各場面の絵を作成する命令文を、AIに考えさせる
- ④AIが考えた命令文を、画像生成AIに読み込ませる  
使用したAI：今回はGoogleのWhiskを利用
- ⑤AIが生成する絵に修正を加えながら各画像を作成
- ⑥AIに絵本を読ませ、読み聞かせ動画を作成



たんぼをみた ちょうじゃさまは、カンカンにおこって、  
「おーい、おひさま！ もういちどのぼってくれーっ！」とおうぎで  
パタパタ。すると…なんと、そらがまたあかるくなったのです！



せんこうじの  
ちかくには、  
みょうぎじという  
おてらがありました

そのそばには  
まるいけとよばれる  
いけがあって  
そこにはこのつ  
あたまをもつ  
くずりゅうがすんでおり  
ときどきばんりゅうこに  
すがたをあらわした  
といいます



かたらやが  
たずねました。

「どこから  
きたのかね？」

すると しょうねんは  
こたえました。

「いえもなく、  
おやも いません。  
知っているのは、  
わかのみちだけです」



びっくりした  
きかんしが  
ブレーキをかけて  
おりてみると……

なんにも  
おらんのじゃ

そんなことが、  
なんにちも  
つづいたんじゃ

# AIで絵本化したふるさと民話の活用

- 高津小学校3年生向けに2025年9月16日に実施
- 万葉の里高津未来の会が協力し、導入に活用
- 児童の反応もよく、地域への興味の入り口に
- また先生方からの反応もよかった
- リクエストに応じて、AI絵本の作り方動画も作成



# 夕日を招く長者

高津十けい  
高津十けい  
高津十けい



高津十けい  
高津十けい  
高津十けい

- 高津十けい
- ①高津川
  - ②神本神社
  - ③高津橋
  - ④はなりのうら
  - ⑤特石海かん
  - ⑥公園
  - ⑦ハウス
  - ⑧高津港
  - ⑨つり橋
  - ⑩街なみ

九月十六日 日火曜日

今日のめあて  
おまけ  
しるし  
今日のめあて

## AIでつくる紙芝居

- ①元ネタ（地域の民話や伝説）をテキスト化して準備
- ②生成AI（Google Gemini）で物語を紙芝居に再構成
- ③生成AI（Google Gemini）で絵を作成する

メモリスト

Google Gemini

gemini.google.com/app?hl=ja

Gemini

2.5 Flash

NEW! Google 最高の画像モデルである Nano Banana で画像編集をお試しください

こんにちは、一泰

Gemini に相談

# 様々な民話・伝承をコンテンツに

- いままで地域に眠っていた民話や伝承に再び注目を集めうる
  - 地域の地名や寺社などが出てくるとグッと親近感を持つ
  - 様々な教材や、観光向けのコンテンツにも使える
  - AI利用を利用した学習教材として生徒に作成させてもよい
  - 観光協会や市が呼びかけて優秀作品を募るのもあり
- 地域の独自性としての民話・伝承を活かせる

※今後、災害の伝承などをわかりやすく伝えたり

マップ化していくとさらに多方面での活用が考えられる